

第2学年 国語科学習指導案

児童 2年2組 男子19人 女子12人 計31名
指導者 高橋 規

1 単元名 だいじなところに気をつけて読もう
教材名 「サンゴの海の生きものたち」(説明文)

2 児童と単元について

(1) 児童について

児童は、1学期の説明文教材「たんぽぽのちえ」で、時間や順序を表す言葉に気を付けながら、様子の変化を読み取ること、主語と述語の関係を理解すること、文の内容、文末表現から様子と理由を区別して読むこと、挿絵をもとに様子的大体を予想し叙述から読み取ること在学习してきている。そのため、文章を読み進める際に、視点をもって読み取ろうとしたり、主語や述語をとらえながら文の意味を考えようとしたりする態度が育ってきている。しかしその一方で、一つ一つの文の意味が分かって、文と文のつながりを考えたり、その文の中でも重要な言葉に着目しながら読み取ったりする力は、十分とはいえない。

7月に行った国語科意識調査では、「物語や説明文の学習が好きですか」の質問に、おおむねの児童が肯定的にとらえている。説明的な文は、児童にとって初めて知ることが多く興味をもって教材文に向かうことができること、国語科の学習で読み取ったことをもとに、考えを出し合い、学び合うことが楽しいと感じている児童も多い。

(2) 単元と教材について

本単元「だいじなところに気をつけて読もう」では、書かれている説明の順序に気を付けながら読むこと、問いかけの文から答えにあたる文章を正しく読み取れることをねらいとしている。

本教材「サンゴの海の生きものたち」は、サンゴのきれいな海の中で生き物の違いに応じた共生について順序立てて説明している文章であるので、生き物に強く関心をもっている児童にとっては、興味深く学習を進めることができる内容である。未知の海に住む生き物たちが、次々に登場してくることから、興味を高めながら読むこともできる教材である。

本教材は、1話題提示、2具体例、3具体例、4まとめ、という文章構成である。問いかけの文「どんな生きものたちが、どんなかかわり合いをしているのでしょうか。」により、読み進める目的がとらえやすくなっており、そこに着目しながら共生の関係を読み取っていくことができる。しかし、これまで読んできた説明文に比べ、登場する生き物の数が多く関係も入り組んでいるため、中心的な事柄を読み取れないでしまう児童がいることも予想される。また、興味をひく教材であるため、話し合いの際に自分の知識に基づく発表をする児童も予想され、読み取りという活動から離れてしまうことも考えられる。写真を手がかりにしながも、文章から読み取っていく活動を中心に据えて進めたい。

さらに、「生きものふしぎはっけんブック」を作ることを目的にすることで、意欲的な読みにつなげ、内容の大体を読み取る力を付けるとともに、他の生き物にも興味をもち、楽しんで読書をしようとする態度を育てていくことができるのではないかと考える。

(3) 付けたい力と読みの方法 【付けたい力】 読みの方法

【事柄の順序に気を付け、内容の大体をとらえる力】

主語と述語の関係に注意して読む。 読みの視点にそって読み取る。
 写真と文章とを照応して読む。
 ・ 問いの文 ・ キーワード

内容の大体をとらえるために、まず文章のおおまかな構成をつかませたい。内容から教材文を四つの大きなまとまりに分け、おおまかな文章構成をつかませることで内容の読み取りがしやすくなる。本教材で述べられている事柄は、問いかけの文から、「生き物の特徴」と「かかわり合い」の二点であることが分かる。この点を意識した学習活動を展開していくことで文章の大体を理解することができることを確認し、読み取りの観点を明確にしたい。

教材を読み深める段階では、書かれている事柄の順序に従い、「特徴」を読み取った後で、「かかわり合い」をまとめていく。具体的な読み取り場面においては、まず、それぞれの文が何について書かれたものかをつかませる必要がある。その際、文の主語を見つける活動を取り入れる。本教材文では、「イソギンチャクは」「クマノミは」など、主語を容易に見つけられる文もあるが、「細長いたくさんのしょく手をゆらゆらさせています」など、主語が明示されていない文も多い。したがって、指導にあたっては、前の文とのつながりや、述語から文の主語は何かを考えさせる必要がある。また、書かれている事柄について写真と照らし合わせる活動を取り入れることで、内容理解の助けとなるであろう。学習シートに、「特徴」や「かかわり合い」を分かりやすくまとめたり、読み取ったことをふまえて、ふき出しや見出しを書いたりする活動を通して、内容の大体をとらえることができるものとする。

さらに、教材文で学習した読みの方法を生かして読み取ることができるような補助教材を活用し、自力で読むことができたという達成感を味わわせたい。

3 単元の目標と評価規準

	単元の目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	海の生き物についての読み物に興味をもち、かかわり合いを読み取ったり、他の本を読んだりしようとする。	・ 海の生き物どうしのかかわり合いについて書かれた読み物を興味をもって読もうとしている。
読む能力	海の生き物の特徴を読み取り、その特徴を生かして、互いに役に立っていることを事柄の順序を考えながら、読み取ることができる。 読むこと イ	・ 事柄の順序を考えながら、内容の大体を読み取っている。
言語についての 知識・理解・技能	片仮名を正しく読んだり、書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使うことができる。 言語事項 イ(ア)	・ 片仮名を正しく読んだり、書いたりし、片仮名で書く語を文や文章の中で使っている。

4 単元の指導計画と評価規準（11時間）

段階	時	学習活動	国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
見 通 す	1	題名についての話し合いやビデオ視聴を通して、教材文を読むことに対する意欲をもつ。	海の生き物について思ったことを進んで発表しようとしている。 (観察・学習シート)		
	2	教材文を通読後、初発の感想を話し合う。新出漢字や語句の意味を確認する。	「サンゴの海の生きものたち」を読み、初めて知ったことや不思議に思ったことを書いたり発表したりしようとしている。 (観察・学習シート)	「サンゴの海の生きものたち」を読み、初めて知ったことや不思議に思ったことを書いている。 (学習シート)	新出漢字や片仮名を正しく読んだり書いたりしている。 (学習シート)
	3	話題の提示と問いかけ、まとめの文からおおまかな文章構成を知り、学習への見通しをもち「生きものふしぎはっけんブック」の表紙作りをする。	内容に興味をもち、進んで表紙作りをしようとしている。 (観察・表紙カード)		
深 め る	4	イソギンチャクとクマノミの特徴を読み取り、「生きものふしぎはっけんブック」にまとめる。		主語と述語の関係に気を付けながら、それぞれの特徴を読み取り、まとめている。 (学習シート)	
	5	イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取り、「生きものふしぎはっけんブック」にまとめる。		イソギンチャクとクマノミのかかわり合いを読み取り、それが分かるようにふき出しに書いている。 (学習シート)	
	6 (本時)	ホンソメワケベラと大きな魚たちとのかかわり合いを読み取り、「生きものふしぎはっけんブック」にまとめる。		ホンソメワケベラと大きな魚たちとのかかわり合いを読み取り、それが分かるようにふき出しに書いている。 (観察・学習シート)	

まとめる	7	これまでの学習を振り返り、学習したことを確かめたり、感想を書いたりする。	これまでの学習を振り返り、進んで感想を書こうとしている。 (観察・学習シート)	これまでの学習を振り返り、感想を書いている。 (学習シート)	
	8 9	学習したことを生かし、サンゴの海の生き物について書かれた補助教材を読む。		補助教材を読み、生き物の特徴やかかわり合いをまとめている。 (学習シート)	
広める	10 11	生き物について書かれた本を読み、「生きものふしぎはっけんブック」にまとめ、完成させる。	生き物について書かれた本を進んで読み、分かったことを書こうとしている。 (観察・学習シート)		片仮名で書く語を文や文章の中で、正しく使っている。 (学習シート)

5 本時の指導 (6 / 1 1)

(1) 本時の目標

ホンソメワケベラと大きな魚たちの互いに役に立っているかかわり合いについて読み、それぞれの立場からふき出しに書くことができる。

(2) 本時の評価の観点と具体の評価規準

観点	具体の評価規準		
	A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する児童への手立て
読む能力	<p>読み取ったことをふまえ、互いのかかわり合いが分かるように、自分の言葉を入れながらふき出しに書いている。</p> <p>例) 大きな魚～ ホンソメワケベラさん、虫を取ってくれるおかげでぼくの体も口も、きれいになってすっきりするよ。</p> <p>ホンソメワケベラ～ 大きな魚さん、口や体についた虫を食べさせてくれるから助かるよ。おなががいっぱいだ。</p>	<p>本文に出てきた言葉をもとに、かかわり合いが分かるように、ふき出しに書いている。</p> <p>例) 大きな魚～ ホンソメワケベラさん、掃除をしてくれてありがとう。</p> <p>ホンソメワケベラ～ 大きな魚さん、食べ物を入れてありがとう。</p>	<p>板書をもとに、それぞれの生き物にとって良いこととかかわり合いについて確かめさせる。</p>

(3) 展開

段階	学習活動 発問 ・ 期待する児童の反応	教師の関わり方 ・ 留意事項 評価
見 通 す 10 分	<p>1 前時の学習を振り返る。</p> <p>2 本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかわり合いを読みとろう。</p> </div> <p>3 読みの視点をもち、学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>・ ホンソメワケベラにとってよいこと ・ 大きな魚たちにとってよいこと</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真や掲示をもとにクマノミとイソギンチャクのかかわり合いを振り返らせる。 ・ 写真を提示し、どの魚がホンソメワケベラであるかを問う。その特徴を叙述に即して述べさせ、学習シートに書かせる。 ・ ホンソメワケベラとかかわり合いをもっているのが大きな魚たちであることを確認する。 ・ 読みの視点は、「気をつけること」として児童に提示する。
深 め る 32 分	<p>4 学習場面を音読する。</p> <p>5 内容を読み取る。</p> <p>(1) 大きな魚たちにとって良いことを読み取る。 大きな魚たちは、ホンソメワケベラを食べますか。 ・ 食べません。</p> <p>なぜ、大きな魚たちはホンソメワケベラを食べないのでしょうか。</p> <p>・ 大きな魚たちは、体や口の中についた虫を、ホンソメワケベラがとって、きれいにそうじしてくれるのを知っているからです。</p> <p>大きな魚たちにとって良いことを学習シートにまとめましょう。</p> <p>(2) ホンソメワケベラにとって良いことを読み取る。 ホンソメワケベラにとってどんな良いことがあるのでしょうか。学習シートにまとめましょう。</p> <p>・ 掃除をして取った虫が、ホンソメワケベラの食べ物になるのです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視点に沿って、段落を音読させる。 ・ 写真に着目させ、大きな魚たちの餌になりにかねないホンソメワケベラが食べられないのには、大きな魚たちにとって良いことがあるからだということをおさえ、サイドラインを引かせる。 ・ 大きな魚たちにとって良いことを視覚的にとらえさせる。 ・ 児童の発言を取り上げ、一緒にまとめ、板書したものを視写させる。 ・ サイドラインを引かせ、叙述をもとに、各自、学習シートに書かせる。 ・ ホンソメワケベラにとって良いことを視覚的にとらえさせることによりかかわりにつなげる。

	<p>6 相手に対する思いを吹き出しに書く。 大きな魚たちになって、ホンソメワケベラにお話ししてみよう。ホンソメワケベラになって、大きな魚にお話ししてみましよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書をもとに、大きな魚たちは体や口の中が掃除されてきれいになること、ホンソメワケベラは、取った虫が食べ物になることを確かめ、互いに良いことがあるかわり合いあることを確認し、それぞれの生き物になったつもりで、ふき出しに書かせる。 <p>読み取ったことや本文に出てきた言葉をもとに、ふき出しに書くことができたか。 (学習シート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き終わった児童には、学習シートの見出しを考え書かせる。 ・かわり合いが分かるように記述していた児童を指名し、発表させる。
<p>ま と め る 3 分</p>	<p>7 まとめの音読をする。</p> <p>8 次の学習について確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・板書をもとに本時を振り返り、一斉音読をさせる。 ・学習計画表をもとに確認する。

(4) 板書計画

大きな魚たちにとってよいこと

- ・ 体や口の中についた虫をきれいにそうじしてもらえらる。

ホンソメワケベラと大きな魚の写真

ホンソメワケベラにとってよいこと

- ・ そうじをしてとった虫が食べものになる。

ホンソメワケベラのとくちよう

- ・ 明るい青色の体
- ・ 黒いすじが一本
- ・ 体の長さは十二センチメートル

ホンソメワケベラと大きな魚たちのかかり合いを讀みとろう。

- ・ 気をつけること
- ・ ホンソメワケベラにとってよいこと
- ・ 大きな魚たちにとってよいこと

だいじなところに氣をつけて讀もう
サンゴの海の生きものたち
もとかわ たつお